

2021年11月5日

報道関係者各位

株式会社 CyberZ

CyberZ と OEN が NFT プロデュース事業を本格始動

エンターテインメント業界における NFT の価値創出に向け 企画/制作/運営など NFT を活用した事業のプロデュースを ワンストップで行う取り組みを開始

株式会社 CyberZ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山内隆裕)と、株式会社 OEN(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 藤井琢倫、以下 OEN)は、エンターテインメント領域における NFT 活用の促進と新しい体験の創出に向け、NFT 事業に参入することを 2021 年 6 月に発表し、この度 NFT 活用事業の総合プロデュースを本格始動いたしました。



CyberZ と OEN は、エンターテインメント領域の事業者様との複数の事業展開を通じて、業界活性とビジネス創出に努めて参りました。

これまでの両社の知見や強みを活かすことで、企画/制作/運営などをワンストップでご提供することが可能となり、実際に以下プロジェクトの NFT プロデュースを行いました。

■香取慎吾 NFT アートチャリティプロジェクト



9月6日(月)より、香取慎吾さんによるパラスポーツ支援チャリティ企画『香取慎吾 NFT アートチャリティプロジェクト』を開始し、「LINE BITMAX Wallet」にて NFT の付与を行いました。

日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)でしか実物を見ることのできないアート作品を、ブロックチェーン技術を活用し、唯一無二で代替不可能な“NFT アート”として、10,000 点限定、3,900 円のチャリティ参加募集を行ったところ、わずか 1 日で参加者が、10,000 人に達しました。

チャリティという形でパラスポーツへの想いを込めて実施したこのプロジェクトは、ご賛同いただいた方々の温かいご支援に恵まれ、大成功を収めることができました。またこれまで NFT に触れたことのなかった皆様にも「唯一のデジタルの宝物」を手にしていただけるような工夫をプロジェクトメンバー一同で取り組ませていただきました。

国内発の NFT アートのプロジェクトとして 10,000 人という多くの方が、例を見ないほどのスピードで参加上限に達したこともあり、各メディア、業界から大きな反響をいただくことができました。

■ももクロメモリアル NFT トレカプロジェクト

『10 周年記念東京ドーム LIVE』の記念すべき伝説のライブの写真を活用した、ももいろクローバーZ のメモリアル NFT トレカ 2,288 パックの限定販売を「OpenSea」と「PassMarket」で 10 月 4 日(月)より開始し「PassMarket」ではわずか 1 時間で完売いたしました。

ももクロファンの皆様にとって大切な東京ドームライブを NFT のコレクションとして宝物にしていただくために、多くの仕掛けを行いました。デザインは名シーンが散りばめられた、トランプモチーフの全 52 種類(+α)のカードデザインとなっており、カードの裏面には隠し要素をつくることで遊び心を追加致しました。

さらに、当たりの NFT を後日発表し、当選者には「メンバー直筆イラスト色紙」のピースをプレゼントする特典もご用意しています。また NFT カードを一定枚数以上コレクションすることで「JOKER」を手に入れられるような工夫も追加致しました。

ももクロファン・NFT ファンの皆様が、「コレクション性」を楽しんでいただけるようなことに挑戦した新しい事例となりました。

■NFT プロデュース事業概要

- ・企画/制作/運営
 - ・最適な NFT マーケットプレイスの選定
 - ・NFT の発行・販売
 - ・マーケティング支援
 - ・PR 支援
 - ・法務、財務関連の対応
- など

■CyberZ 取締役・青村 陽介コメント

NFT というこれまでになかった新しい技術に大きな可能性を感じ、日本のエンターテインメント企業の皆様と議論を重ねてきました。その中で、「挑戦したい」という強い思いを持つ皆様の熱意をとて強く感じています。我々のもつデジタルの強みを活かし、日本のエンターテインメントの挑戦の一翼を担いたい。そういった思いでこの事業に取り組むことを決断致しました。世界で大きなトレンドをうんでいる NFT 市場は刻一刻と変化していることを肌身で感じております。日本発の新しい価値のある取り組みに挑戦し、ユーザーの皆様により楽しんでいただけるエンターテインメントを NFT を通じてうみ出していきたいと考えております。

■株式会社 OEN 代表取締役・藤井 琢倫コメント

NFT はまだ日本では馴染みが薄いですが、YouTube が世の中に出てきて、そこから YouTuber が生まれたように、日本からも強いコンテンツが今後生まれるのは間違いないと思っています。日本のエンタメ発で話題になる NFT 企画が未だ見られないのは、数あるマーケットプレイスの中から、どこでどのように展開することが最適なのかを判断できないという問題があるのがリアルな現状です。我々も実績を重ねることで分かったこともあるので、今後もユーザーに求められる NFT をプロデュースしていきたいと思っております。

<参考リリース>

エンターテインメント領域の事業を展開する CyberZ と OEN が NFT 事業に参入:

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000923.000006792.html>

「香取慎吾 NFT アートチャリティプロジェクト」について:

https://contents.atarashiichizu.com/?p=16403&post_type=chizu_topic

「ももクロメモリアル NFT トレカプロジェクト」について:<https://momoclo.nft-official.com/>

今後も CyberZ と OEN は、両社の知見を活かし、アニメ・アート・アーティストなど様々なエンターテインメント分野の事業者様の NFT 活用の支援を行って参ります。

■CyberZ について

代表取締役社長: 山内 隆裕 (<https://twitter.com/brother0820>)

スマートフォンに特化した広告マーケティング会社として 2009 年に設立しました。スマートフォン広告における運用・効果検証、交通広告やウェブ CM の制作など、幅広いマーケティング事業を展開。日本に加えて、サンフランシスコ、韓国、台湾にも支社を構え、国内広告主の海外進出および海外広告主の日本展開支援も行っております。メディア事業として国内最大のライブ配信メディア「OPENREC.tv」、e スポーツ事業として、国内最大級の e スポーツイベント「RAGE」を運営しております。CyberZ100%子会社としては、フィギュア販売やオンラインくじなどのオンラインエンタテインメント事業をおこなう「株式会社 eStream」、e スポーツに特化した広告マーケティング事業「株式会社 CyberE」の事業展開をしております。

また、エンターテインメント領域の事業者様との複数の事業展開を通じて、業界活性とビジネス創出に努めてきたこれまでの知見や強みを活かし、企画/制作/運営などをワンストップでご提供する『NFT プロデュース』を開始いたしました。

■ 会社概要

社名株式会社 CyberZ

東京本社東京都渋谷区渋谷 2 丁目 24 番 12 号 渋谷スクランブルスクエア 23 階

代表者代表取締役社長 山内隆裕

事業内容スマートフォン広告事業、スマートフォンメディア事業、e スポーツ事業



URL <http://cyber-z.co.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 CyberZ 広報担当:城戸

E-mail: press@cyber-z.co.jp Tel:050-5490-9001 Fax:03-5428-2318